

地域資源ブランド児童生徒向け現地学習会

【綾ユネスコエコパーク編】



令和5年12月2日(土)に県内の小学5・6年生を対象とした現地学習会を実施しました！
今回は、綾ユネスコエコパークにおいて「人と自然との共生」をテーマに様々な体験を通して学びました。



- 〈参加人数〉 12名
- 〈実施内容〉
- 綾照葉大吊橋
 - 有機農業体験
(にんじん・レタス収穫体験、レタスの苗植え体験)
 - 料理体験
(樫の実こんにゃく、にんじんケーキ、ソーセージ作り体験)

○綾照葉大吊橋

ユネスコエコパークは3つの地域(※)で構成されていることを学び、
いざ綾ユネスコエコパークの核心地域へ！！

講師の先生に「人の生活の基本は自然との共生にある。」ということを知り、
この植物は生活の何に使えるだろう？と考えながら自然の中を歩きました。

(※) ユネスコエコパークは3つの地域で構成

- ・核心地域：自然環境を厳格に保護しなければならない地域
- ・緩衝地域：核心地域と移行地域のクッションとして核心地域を保護する地域
- ・移行地域：自然と人々が共生し持続可能な発展を目指す地域



○有機農業体験

化学的に合成された肥料や農薬等を使用せず、自然環境を汚さない有機農業を体験しました。今回のテーマである「人と自然との共生」について学ぶ貴重な機会になりました。



○料理体験

ユネスコエコパーク内を歩く中で、子どもたちが特に興味を示していたのは、
「“どんぐり”はそのまま食べられるものもありますが、

苦みが強くそのままではおいしくないこと」でした。

苦みの強いどんぐりを美味しく食べる方法を「樫の実こんにゃく」作り体験で学ぶことができました。



子どもたちからは、

「生物同士のつながりをフィールドワークで学ぶことができました。」

「照葉樹の特徴を知ることができた。」

「有機農法が自然に優しい農法ということを知ることができた。」

等の意見が聞かれ、様々な体験を通して多くの学びを得ることができたと感じています。